

大山町議会議長 野口 俊明 様

大山町議会議員 遠藤 幸子



### 平成 28 年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	平成 28 年 8 月 4 日 (木) ~ 5 日 (金)	
2	研修地	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所	
3	研修内容	(内 容)	(場 所)
		(1) 医療機関 住民とともに地域医療を支える取り組み	滋賀県大津市
		(2) 地域まるごとケア	
		(3) 介護予防の公的責任と自治体	
		(4) 地域を健康にするまちづくり	
4	研修結果 又は概要 (意見・感想)	(1) 地域医療とは、住民一人ひとりに寄り添って支援していく医療活動。市域住民が地域に誇りを持ち、地域を何とかしたいとの強い想いを持たなければ、地域の再生は実現しない。 現在、住民が参加して地域医療を守り、育てる活動が全国で立ち上がっている。地域医療のあしたは、日本医療のあしたである。	
		(2) 住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続ける。 滋賀県東近江市の事例紹介 一人暮らしでも、認知症でも、障がいを抱えていても笑顔で生活している。地域医療は医師一人ではできない。多職種連携が必要。地域包括ケアというより、地域まるごとケアである。まるごとケアにできること。	
		(3) 歩いて暮らせるまちづくり 多くの住民が健幸になるためのまちづくりは「歩いて暮らせるまち」を創ること。それには、便利さだけを追求しすぎないこと。課題は沢山あるが、産官学が共同して取り組むべきである。	



(4) 和光市の超高齢社会に対応した地域包括ケアシステム。高齢者個別の課題、地域の課題を把握するため、毎年アンケートを実施。未回収のアンケート対象者こそ課題があると考え、認知症サポーターなどの協力で現状の把握をしている。

(日常生活圏域ニーズ調査)

地域包括支援ネットワークの構築

認知症を発症しても、地域で暮らし続けられるよう、全ての状態に対応できる地域体制の構築。

地域ケア会議・人的連携（医療・介護の連携）

まとめ

地域医療とは、住民の健康問題のみならず、生活の質にも注目しながら、住民一人ひとりに寄り添って支援していく医療活動である。

国民の健康を取り巻く現状と課題は、

- ・高齢化
- ・疾病の慢性化・複合化
- ・人間関係の過疎化

4 研修結果  
又は概要  
(意見・感想)

これからの日本の医療、持続可能な社会保障制度に向けて

- ・地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保
- ・地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化

住民が参加する地域医療づくり

全国各地で地域医療を守り、育てる活動が立ち上がっている。

地域住民が地域に「誇り」を持ち、愛する地域を何とかしたいという強い思いを持たなければ、地域の再生は実現しない。